事例No.	609
公表年度	H30
団体の属性	中核市
団体名	長崎県長崎市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	ICTによる効率化

事例内容・タイトル

web広域監視を用いた下水道処理場の運転やマンホールポンプ等の監視

出典

下水道財政のあり方に関する研究会

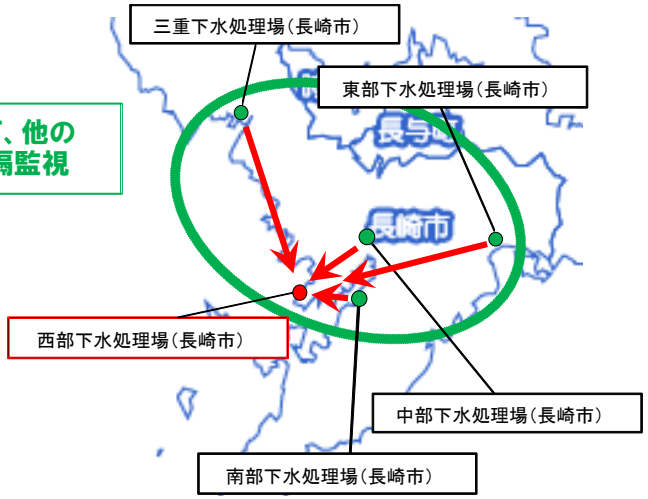
ICTによる効率化事例

（1）長崎県長崎市

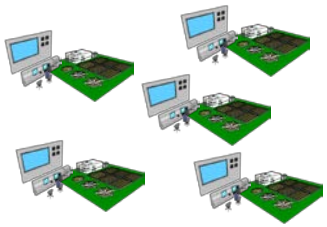
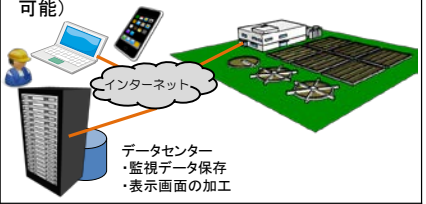
○ 長崎市では、**Web広域監視を用いて、下水処理場の運転やマンホールポンプ等の監視**することで業務を効率化。

○ Web広域監視の導入によって、処理場の**監視体制人員を削減**。

西部下水処理場にて、他の4処理場も含め、遠隔監視



▼ ICT導入効果

	導入前	導入後
監視体制	○ 大規模処理場（5箇所）の監視室 	○ インターネットで接続されたPC・モバイル機器で監視可能（処理場・庁舎のいずれからも監視可能） 
監視場所	・昼間監視：各処理場に2名配置（2名×5箇所） ・夜間監視：**各処理場に2名配置（2名×5箇所）**	・昼間監視：各処理場に2名配置（2名×5箇所） ・夜間監視：**1処理場に人員を集約（3名×1箇所）**

（2）山形県新庄市等

○ 山形県新庄市が周辺6町村から事務の委託を受け、施設を整備し、新庄市浄化センターを中核処理場として、**6町村の処理場をNTT回線で結び、遠方監視**を実施。

○ 新庄市と周辺6町村で「最上圏流域下水道共同管理協議会」（地方自治法「協議会」）を設置。

○ 中核処理場に巡回点検班をおき、定期的な巡回・保守点検を実施。

維持管理の共同化

団体名

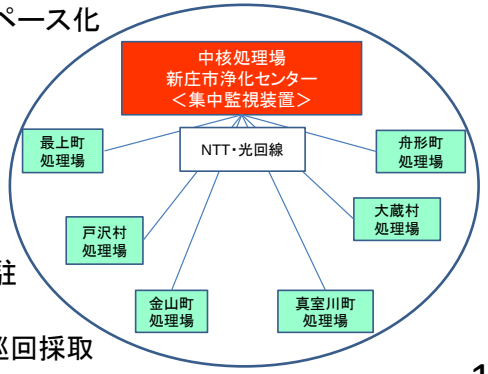
新庄市，金山町（かねやま），最上町（もがみ），舟形町（ふながた），真室川町（まむろがわ），大蔵村（おおくら），戸沢村（とざわ）

効果・メリット

・監視設備等の共同化：
　建設・維持管理コストの低減，
　処理場管理人件費の削減

・水質試験室の共同化：省スペース化

▼ 中核処理場による集中監視



9～10名が常駐

・保守点検：定期巡回

・水質試験：保守点検要員が巡回採取

出典：第1回広域化・共同化検討分科会資料（一部加工）